

令和2年3月吉日
船橋希望学舎
世田谷区立船橋希望中学校
校長 菅野 茂男
学校関係者評価委員会事務局

令和元年度 前年度の改善方策について実行した改善結果

1 「豊かな人間関係づくりをめざし、ものの見方・考え方を深め、自己教育力を培う」について

(1)「対話的な学び」を重要視し、授業ではグループ学習を積極的に取り入れたり、演劇的手法を用いるなど対話的な学びを進めた結果、学校関係者評価生徒用アンケートの「私は、磨き合い、高め合おうとする気持ちがある」の項目において、肯定的な評価が前年度の2年生は71%であったが、本年度3年生になっての評価が80%に、昨年度の1年生は75%であったが、本年度の2年生では85%と大きく上回った。

(2) ICTの効果的な活用や体験的な学習、問題解決的な学習の充実などの指導方法工夫改善に積極的に取り組み、生きて働く知識・技能の確実な習得を図った結果、学校関係者評価保護者用アンケートの「本校は、子どもにとってわかりやすい授業をしている」の項目において、「とても思う」とした評価が前年度の1年生は10%であったが、本年度2年生になっての評価が17%に、「本校は、授業をとおして、子どもたちに学力がついている」の項目において、「とても思う」とした評価が前年度の1年生は8%であったが、本年度2年生になっての評価が14%と大きく上回った。

(3) ユネスコスクール加盟校として、屋上緑化など校内の自然環境を守りながら、道徳など様々な教育活動を通して一人一人を大切にする心の教育を進め、持続可能な開発を促進するために必要な知識および技能を習得させた。

(4) 不登校傾向の生徒や集団生活になじめない生徒への対応については、日ごろの学級活動や諸行事、道徳教育等を通して思いやりの心を育んできた結果、学校関係者評価生徒用アンケートの「私は、友達など他の人たちを認め合い、励まし合おうとする気持ちがある」の項目において、肯定的な評価が2年生、3年生とも90%弱の数字であった。

2 「運動に親しみ、健康に生活する力を培う」について

(1) 投力、握力を強化するために、保健体育の授業で鉄棒にぶら下がるアップを行い、ボーテックス投げを実施した結果、2年男子は握力で区平均を上回り、ハンドボール投げでは2年男女とも全国平均を超えた。

(2) 軽運動部の活動を継続して実施し、運動する機会が少ない生徒の心身の健康を保持・増進させた。

(3) 食育の充実に向けてオリパラ給食を実施し、講演会等でオリンピックや・パラリンピアンを招聘し、間近で話を聞いたり、部活動の実技指導を実施したことで、東京2020オリンピック・パラリンピックへの興味関心を高めることができた。

3 「世田谷9年教育『船橋希望学舎』活動の進展」について

(1) 11月に学舎合同学校協議会を開催し、PTAや地域の協力を得ながら、より良い教育の在り方や安全対策等について、小中学校が連携して検討を行った。

(2) 職場体験や職業講話等、各学年でキャリア教育を進める一方で、学舎4校がNIEや演劇的手法を用いた授業を連携して発達段階に応じて取り入れ、これからの社会を生き抜くために必要な知識、技能を身に付けさせ、将来への資質・能力を育んだ。

(3) 小学生と中学生の連携については、毎学期初めに本校生徒が学舎3小学校であいさつ運動を行う学舎あいさつキャンペーンや、青少年船橋地区委員会の「子どもぶんか村」の様々なグループでの活動を通して交流を行った。